

## 1 つぎのお話を よんで もんだいに こたえましょう。

きょう、さくらは学校の花だんにたねをまくことになりました。

先生は、「土をやさしくならしてから、たねをまきましよう」といいました。

さくらはじょうろをもって、水をすこしだけかけ、土がしめつたことをたしかめました。

たねはともちいさくて、かぜでとびそうでした。

さくらは、「なくならないようにしよう」と思って、手のひらですつとまきました。

そのあと、土をうすくかぶせて、「はやくめが出るといいな」といいました。

休みじかんに見に行くと、まだ何もかわっていません。

でも、さくらは毎朝水をあげて、「きのうよりつよくなっているかも」と思いながら見ました。

ある日、土のすきまから、ちいさなみどりのめがのぞいていました。

さくらは、「出てきた!」とうれしくなって、ともだちにしらせました。

みんなで見ると、「ほんとうだ」「これからどうなるのかな」と話しあいました。

先生は、「つづけておせわすると、もっと大きくなるよ」といいました。

さくらは、花だんを見ながら、「たいせつにそだてよう」と心の中できめました。



- (1) 文にある「        」の「なくならないようにしよう」と思ったりゆうを、話の内容をもとにして書きましよう。

- (2) さくらが、めを見つけたときの気持ちにいちばん近いものはどれですか。ただしいばんごうに○をしましよう。

- ① つかれてしまいうやめたいと思った
- ② まちがえたかもしれないと思い、しんぱいになった
- ③ めを見つけてうれしくなり、ともだちにしらせた

- (3) おはなしをよんで、ただしければ○、ちがつていれば×を( )につけましよう。

( ) さくらはじょうろをもって、水をたくさんかけた。

( ) さくらは、たねをまいたあと、何日も水を上げなかった。

( ) ある日、土のすきまからちいさなみどりのめが出てきた。

## 1 つぎのお話をよんで もんだいにこたえましょう。

きょう、さくらは学校の花だんにたねをまくことになりました。

先生は、「土をやさしくならしてから、たねをまきましよう」といいました。

さくらはじょうろをもって、水をすこしだけかけ、土がしめつたことをたしかめました。

たねはとてもちいさくて、かぜでとびそうでした。

さくらは、「なくならないようにしよう」と思って、手のひらですつとまきました。

そのあと、土をうすくかぶせて、「はやくめが出るといいな」といいました。

休みじかんに見に行くと、まだ何もかわっていません。

でも、さくらは毎朝水をあげて、「きのうよりつよくなっているかも」と思いながら見ました。

ある日、土のすきまから、ちいさなみどりのめがのぞいていました。

さくらは、「出てきた!」とうれしくなって、ともだちにしらせました。

みんなで見ると、「ほんとうだ」「これからどうなるのかな」と話しあいました。

先生は、「つづけておせわすると、もっと大きくなるよ」といいました。

さくらは、花だんを見ながら、「たいせつにそだてよう」と心の中できめました。



(1) 文にある「なくならないようにしよう」と想ったりゆうを、話の内容をもとにして書きましよう。

解答例) たねがとてもちいさくて、かぜでとんでなくなりそうだったから。

(2) さくらが、めを見つけたときの気もちにいちばん近いものはどれですか。ただしいばんごうに○をしましよう。

- ① つかれてしまいうやめたいと思った
- ② まちがえたかもしれないと思い、しんぱいになった
- ③  めを見つけてうれしくなり、ともだちにしらせた

(3) おはなしをよんで、ただしければ○、ちがつていれば×を( )につけましよう。

( ) × ( ) さくらはじょうろをもって、水をたくさんかけた。

( ) × ( ) さくらは、たねをまいたあと、何日も水を上げなかった。

( ) ○ ( ) ある日、土のすきまからちいさなみどりのめが出てきた。